

より詳しく
浸水状況を確認する

地点別浸水シミュレーション
システム(浸水ナビ)
(国土交通省)



河川や地域を細かく設定したシミュレーションで、浸水の深さや浸水までの時間が分かる

重ねるハザードマップ
(国土交通省)



洪水や土砂災害などの被害が想定される区域を同時に確認できる

避難の方法と内容



立退き避難
(水平避難)

自宅から離れて避難所や近隣の安全な場所へ移動する避難方法

- 開設している避難所へ避難する
- 安全な地域に住んでいる親戚や知人の家に身を寄せる
- 安全な場所に自動車でも移動して車中避難をする



屋内安全確保
(垂直避難)

2階以上の建物に移動する避難方法

- 自宅の2階以上に移動する
- 近くの2階以上の建物に避難する



緊急安全確保

避難が遅れ、外に出ることが危険な場合の避難方法

- 自宅の少しでも高いところに緊急的に避難する
- 土砂災害の可能性がある場合は、崖から少しでも離れた部屋に避難する

避難の方法を決める目安(一般的な家屋の場合)

	ハザードマップの浸水深	避難の方法
1階建て	0.5m以上	立退き避難
2階建て	3m未満	屋内安全確保が可能
	3m以上	立退き避難

避難所での感染症対策

【受付時】

- 検温を実施
- 発熱している方は

問診と簡易検査を行った後、医療機関を受診し、受診後は必要に応じて別に用意する専用の避難所へ移動してもらいます。なお、深夜帯など医療機関の受診が難しい場合は、避難所に用意した別室に避難します。

【避難居住スペース】

- マスクの着用と手指の消毒、手洗いの徹底
- 人との間隔を2m以上(最低1m以上)空ける
- こまめな換気と毎日の検温

【運営スタッフの対策】

- 受付用の飛沫防止パネルの設置
- フェイスシールドの着用

感染症による自宅療養者や濃厚接触者の避難はどうすれば?

指定避難所に感染症による自宅療養者や濃厚接触者が避難した場合、避難所でクラスターが発生する恐れがあることから、市は自宅療養者や濃厚接触者を受け入れるための避難所を指定避難所とは別に用意しています。

自宅で安全を確保することが難しい自宅療養者や濃厚接触者の方は、避難所への避難が必要となった場合、専用の避難所をお知らせしますので、災害対策本部(防災対策室)にご連絡ください。

避難方法を決めよう

自宅が浸水想定区域に入っている場合、あらかじめ浸水深と自宅の高さを確認しておき、立退き避難をするか、屋内安全確保をするか決めて

おく必要があります。市から避難情報が出た際に、速やかに避難行動がとれるようにしておきましょう。

万が一の備えでできていますか?

近年、大規模な被害をもたらす災害が、毎年のように起きています。

当然ですが、災害はいつ起きるか分かりません。しかし、事前に準備をしておくことで、自分や家族が災害に巻き込まれる可能性を減らすことができます。

今月号は、皆さんに考えておいてほしい「避難」についてお知らせします。

問合せ 防災対策室 防災対策係 ☎ 35・4823



市職員が出演して説明します
6月10日(金)
午後5時40分

FMはまなすで放送中

防災啓発番組「防災どーする?」
市職員が防災に関する情報をお知らせしています。
放送日程 毎週月曜日 午前11時40分と午後4時40分から(5分程度)

ハザードマップは「大川」と「中小河川」の2種類



ハザードマップ配布場所

- 市役所本庁
- 北村・栗沢両支所
- 幌向・朝日・美流渡・有明交流プラザの各サービスセンター

市ホームページにも掲載しています

ID: 2671

ハザードマップを確認しよう

自宅が浸水想定区域に入っているかどうかを地図上で確認できるものがハザードマップです。浸水想定区

避難方法を考える



域のほかにも浸水深、避難所の位置、土砂災害の危険箇所も確認できます。まずは、ハザードマップで自宅が浸水するかどうか確認しましょう。

家庭での対策を 考える

情報を入手しよう

皆さんは、各種警報の発表や市が発令する避難情報などの防災情報の入手方法を知っていますか。
素早く、正確な情報を入手することは、災害から身を守るために大切なことです。
市はさまざまな方法で情報を発信しています。自分に合った方法を決めて、確実に情報を入手できるようにしましょう。



避難情報を発信

- エリアメール ● 緊急告知 FM ラジオ ● 市ホームページ
- 市公式 Facebook、Twitter など

おすすめ

緊急告知 FM ラジオ

避難情報の発令や特別警報の発表があった際に、電源を切っても自動で音声が出て情報をお知らせするラジオです。

通常時は FM はまなすの放送を聞くことができます。

販売価格

市民、町会・自治会	2,000 円
事業所	4,000 円

販売場所

- 防災対策室
- 北村・栗沢両支所
- FM はまなす（有明町南1 コミュニティプラザ1階）



市ホームページ



Facebook



Twitter



非常持出し品を準備しよう

立退き避難をする際、避難先で必要となる日用品や貴重品をリュックなどにまとめたものが非常持出し品です。
災害が起きてから必要なものを準備

備しようとする、避難までに時間がかかってしまいます。また、必要なものは人それぞれ違います。あらかじめ、家族の状況に合わせた非常持出し品を準備しておき、持ち出しやすい場所に置いておきましょう。

備蓄しておこう

屋内安全確保の際も、自宅ですごせるように食料品や日用品を備蓄しましょう。
また、浸水が想定されていない区域に住んでいても、大規模な災害が

発生したときは、ライフラインの停止や物流の停滞により、食料品や日用品を購入できなくなる可能性があります。最低でも3日分程度の食料品や日用品を備蓄しておきましょう。

一般的な非常持出し品の例



必要に応じて追加

高齢者や身体の不自由な方がいる家庭

- 大人用紙おむつ ● 杖 など

乳幼児がいる家庭

- 乳幼児用紙おむつ ● 哺乳瓶・粉ミルク ● 離乳食 など

ペットがいる家庭

- ペットフード・水 ● 食器類 ● トイレ用品 ● ペットの写真 ● 毛布
- ビニール袋・ガムテープ ● ケージやキャリーバッグ ● リード など

ローリングストック法で

効率的な備蓄を実践!

普段から、水や食料品を少し多めに備蓄しておき、賞味期限が近いものから日常生活の中で消費し、消費した分を買足することで、無駄なく、常に一定量の備蓄をしておくことができます。



ペットがいる場合の避難を考える



市の指定避難所の一部では、ペットの受け入れが可能です。

しかし、避難者の中には動物が苦手な人やアレルギーを持っている人もいます。ペットと一緒に避難所に避難する場合は、ルールを守り、トラブルが起きないように心がけましょう。

なお、ペットの受け入れには屋内ペット避難、屋外ペット

ト避難、車内ペット避難の3つの方法があります。避難所によって受け入れできる方法が異なるため、事前に確認しておきましょう。

詳しい内容は市ホームページ掲載の「避難所におけるペット避難ガイドライン」をご覧ください



【避難所ごとの受入方法一覧】

No.	避難所名	水害のとき			地震のとき		
		屋内	屋外	車内	屋内	屋外	車内
1	第一小学校	○	×	○	○	○	○
2	総合体育館	×	×	×	×	○	○
3	北真小学校	○	○	○	○	○	○
4	東小学校	○	×	×	○	○	○
5	東光中学校	○	○	○	○	○	○
6	岩見沢小学校	○	×	○	○	○	○
7	中央小学校	○	×	○	○	○	○
8	生涯学習センターいわなび	×	×	×	×	×	○
9	市民会館・文化センター	○	○	○	○	○	○
10	南小学校	○	○	○	○	○	○
11	光陵中学校	○	○	○	○	○	○
12	美園小学校	○	○	○	○	○	○
13	日の出小学校	○	○	○	○	○	○
14	岩見沢東高等学校	×	×	○	×	×	○
15	志文小学校	○	×	×	○	○	○
16	清園中学校	○	○	○	○	○	○
17	幌向総合コミュニティセンター	×	×	×	×	○	○
18	幌向小学校	○	○	×	○	○	○
19	豊中学校	○	×	×	○	○	○
20	上幌向中学校	○	○	○	○	○	○
21	メープル小学校	×	○	○	×	○	○
22	岩峰地区農地流動化センター	×	×	○	×	×	○
23	朝日コミュニティ交流センター	×	×	×	×	×	○
24	毛陽交流センター	×	×	○	×	×	○
25	北村トレーニングセンター	×	×	×	×	×	○
26	北村中学校	○	×	×	○	○	○
27	北村小学校	○	○	○	○	○	○
28	豊正地区自治会館	×	×	×	×	×	○
29	美唄達布地区自治会館	×	×	○	×	×	○
30	幌達布地区自治会館	×	×	○	×	×	○
31	砂浜地区自治会館	×	×	×	×	×	○
32	東地区自治会館	×	×	×	×	×	○
33	栗沢市民センター	○	○	○	○	○	○
34	必成地区集会所	×	×	○	×	×	○
35	西地区集会所	×	×	×	×	×	○
36	岐阜地区集会所	×	×	○	×	×	○
37	由良地区集会所	×	×	○	×	×	○
38	茂世丑地区集会所	×	×	○	×	×	○
39	上幌地区集会所	×	×	○	×	×	○
40	栗丘地区集会所	×	×	○	×	×	○
41	弥生ヶ丘地区集会所	×	×	×	×	×	×
42	栗沢 B&G 海洋センター	×	○	○	×	○	○
43	最上北栄地区集会所	×	×	○	×	×	○
44	宮村地区集会所	×	×	×	×	×	○
45	美流渡コミュニティセンター	○	○	○	○	○	○
46	万字地区集会所	×	×	○	×	×	○
47	ホテルサンプラザ	×	×	×	×	×	×
48	北村温泉	×	×	×	×	×	×

災害はいつ襲ってくるかわかりません。市は災害に備え、さまざまな取り組みを行っていますが、災害時、慌てることなく、安全に避難するためには、皆さん一人一人の日ごろからの準備が大切です。この機会に家族などで話し合い、万が一の備えの確認をお願いいたします。

避難所でのペットの受入方法

飼い主とペットは原則別のスペースで避難生活を送ります。食事や排泄物の処理は、飼い主が行ってください。また、避難所にはペットフードやペットの生活用品は用意していません。非常持出し品の中にペット用品を準備しておいてください。(5ページ参照)

屋内ペット避難

ケージやキャリーバッグにペットを入れて飼育します。
対象のペット 小型・中型犬、猫、鳥、小動物(ウサギ・ハムスターなど)
飼育場所 避難所の屋内の決められたスペース
必要な物 ケージまたはキャリーバッグなど

屋外ペット避難

屋外の柱などにリードでつないで飼育します。
対象のペット 大型犬、ケージやキャリーバッグに入っていない動物
飼育場所 避難所の屋外の決められたスペース
必要な物 首輪、リードなど

車内ペット避難

自家用車内でペットと一緒に避難します。飼い主は定期的に車外で体を動かすなど、エコノミークラス症候群に気をつけてください。
飼育場所 避難所の駐車場